

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
1	大学生等学業継続支援事業	親の収入減やアルバイト先の休業などが生じ、学費や生活費の支払いに窮している大学生などを支援する。	185,550	185,440	大学生など、1,854人に対し、支援金を給付した。
2	高校生等共になんぼろう応援事業	臨時休校や外出自粛要請などにより在宅生活を余儀なくされている高校生を応援するとともに、経済的負担の軽減を図るため、支援金を給付する。	19,300	19,300	高校生193人に対し、支援金を給付した。
3	広報ふえふき号外発行事業	市が行う支援策を市民へ周知するため、支援策を掲載した広報ふえふき号外を発行する。	341	341	市民に対し、広報紙号外を26,200部作成し、支援策を周知した。
4	応援メッセージ懸垂幕作成事業	心身ともに疲弊した地域住民や小中学生たちを励まし、希望をもって過ごせるよう応援メッセージを書いた懸垂幕を本館他市内2か所に掲げる。	690	690	希望をもって過ごせるよう応援メッセージを書いた懸垂幕を、市役所本館ほか2か所に掲げた。
5	唾防護壁作成事業	感染対策として、唾防護壁を作成する	1,398	1,398	透明アクリル板を163枚作成し、感染対策を行った。
6	自立支援医療（精神通院医療）の自己負担軽減事業	重度心身障害者医療費助成による助成を受けられない自立支援医療(精神通院医療)受給者のうち低所得者を対象として、自己負担分を助成する。	631	631	自立支援医療(精神通院医療)受給者のうち低所得者を対象として、助成することができ、自己負担軽減となった。
7	障害児福祉サービス等の利用料助成事業	障害児福祉サービス(放課後等デイサービス)利用登録者を対象として利用者負担分を助成する。	3,077	3,077	障害児福祉サービス(放課後等デイサービス)利用登録者を対象として、助成することができ、自己負担軽減となった。
8	ひとり親家庭（児童扶養手当認定者）特別給付金事業	小中学校の休校や保育所への登園自粛、職場での就業制限等により、大きく負担を強いられているひとり親家庭を経済的に支援するため、児童1人あたり3万円の給付金を支給する。	26,100	26,100	ひとり親家庭の児童870人に対し、給付金を支給した。

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
9	保育所等保育利用料無償化事業	新型コロナウイルス感染症による不況の影響から、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、保育料の無償化を行う。	26,699	26,699	6月から11月までの6か月間、保育料を無償化した。
10	保育所等副食費無償化事業	新型コロナウイルス感染症による不況の影響から、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、副食費の無償化を行う。	22,305	22,305	6月から11月までの6か月間、副食費を無償化した。
11	保育所等副食費返還事業	保育所等における副食費について、令和2年3月から5月において登園を自粛した日数分の副食費を保護者に対して返還することとし、これにより公立保育所(指定管理)、市内にある私立保育所及び認定こども園が負担することとなった経費を施設に補助を行う。	2,326	2,326	令和2年3月から5月において登園を自粛した日数分の副食費を保護者に対して返還し、公立保育所及び私立保育所等が負担することとなった経費を補助した。
12	介護保険事業費補助金	外出自粛生活の長期化および介護予防事業の中止に伴い、高齢者が自宅で介護予防に取り組めるよう、トレーニングガイド等を配布する。	2,174	725	高齢者が自宅で介護予防に取り組めるよう、トレーニングガイド等を配布した。
13	緊急食糧支援事業	市内小中学校の休校措置が続き、自宅待機を余儀なくされている状況下において、準要保護世帯の子どもたちは、満足に食事できないため、フードバンク山梨と連携し、2回の食糧支援を行う。	181	181	準要保護世帯の子どもたちに対し、フードバンク山梨と連携し、2回の食糧支援を行った。
14	笛吹市創業持続化支援事業	国の持続化給付金の対象外となる令和2年に創業した新規開業者に対して、事業の継続を支えるため、補助金を交付する。	4,500	4,500	令和2年に創業した新規開業者に18者に対して、事業の継続を支えるため、補助金を交付した。
15	笛吹市宿泊料金割引事業促進キャンペーン事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、旅行需要が激減し存続の危機に面している市内宿泊事業者への支援策として、宿泊料金割引事業を感染終息後に実施するため、促進キャンペーンを行う。	989	989	市内宿泊事業者に対し、促進キャンペーンを行った。

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
16	飲食店支援クーポン事業	市内の飲食店を支援するため、県が実施する飲食店を支援する事業に、市で5%を上乗せして助成する。	11,525	5,000	県が実施する飲食店を支援する事業に、市で5%を上乗せして助成した。
17	私立幼稚園副食費無償化事業	私立幼稚園に通う笛吹市在住の児童を対象に、保護者の経済的負担の軽減を図るため、副食費を市が負担する。	1,219	1,219	6月から11月までの6か月間、私立幼稚園の副食費を無償化した。
18	私立幼稚園副食費助成事業	私立幼稚園における副食費について、令和2年3月から5月において登園を自粛した日数分の副食費を保護者に対して返還することとし、これにより私立幼稚園が負担することとなった経費を施設に補助を行う。	101	101	令和2年3月から5月において登園を自粛した日数分の副食費を保護者に対して返還し、私立幼稚園が負担することとなった経費を補助した。
19	学校給食費無償化事業	新型コロナウイルス感染症による不況の影響から、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、小中学校の給食費を無償化する。	174,599	135,500	6月から11月までの6か月間、小中学校の副食費を無償化した。
20	スクールバス運営事業	新型コロナウイルス感染症による密を回避するため、スクールバスを増便し、児童が座る座席間隔を確保する。	5,012	5,012	スクールバスを2台増便し、児童が座る座席間隔を確保した。
21	小中学校学校教育事業	通常時、児童生徒を通じて配布していた家庭学習用教材や保護者向け資料について、感染予防の観点から、郵送する。 また、学校再開にあたって、基本的な感染予防対策を講じるため、マスク、消毒液等を購入する。	1,220	678	小中学校の家庭学習用教材や保護者向け資料を郵送したことや、マスク、消毒液等を購入し、感染予防対策を行った。
22	新生児特別定額給付金事業	特別定額給付金の基準日である令和2年4月28日から令和3年4月1日までの間に生まれた新生児の母親に対し、特別定額給付金と同様の給付金を生活支援のため支給する。	44,328	40,928	特別定額給付金の対象外となった、新生児の母親443人に対し、同様の給付金を支給した。

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
23	子どものインフルエンザ予防接種助成事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大がインフルエンザの流行と重なった時の医療現場の混乱を避けるため、インフルエンザ予防接種を徹底することにより、集団感染と重症化を防ぐことを目的にワクチン接種費用の助成を行う。	25,896	25,896	インフルエンザ予防接種を徹底することにより、集団感染と重症化を防ぐことを目的にワクチン接種費用の助成を行った。
24	可搬型体温測定サーマルカメラ設置事業	市民、市職員の健康と安全を守るため、サーマルカメラを設置し、感染が疑われる方の庁舎内への立ち入りを制限する。	1,032	1,032	庁舎入り口にサーマルカメラを設置し、感染拡大を防止した。
25	避難所開設用防疫物品購入事業	指定避難所内での新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、必要な物品を購入する。	3,370	3,370	指定避難所に必要な物品を購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った。
26	市長・市議会議員選挙に係るコロナ対策事業	令和2年10月に執行される笛吹市長・市議会議員選挙において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、必要な物品を購入する。	666	666	市の選挙において、フェイスシールド等を購入し、感染拡大を防止した。
27	児童発達支援等助成事業	新型コロナウイルス感染症による不況の影響から、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、児童発達支援を利用して市外の障害者施設へ通所している障害児の保護者に対し、負担を軽減するため、児童発達支援施設利用料及び昼食代を助成する。	743	743	児童発達支援を利用して市外の障害者施設へ通所している障害児の保護者に対し助成し、保護者負担を軽減した。
28	観光果実園支援事業	本市の特産品である桃・ぶどうの収穫時期を迎えるにあたり、オープンする観光果実園に対し、感染症防止対策の支援を行う。	1,509	1,509	観光農園事業者64施設に対し、消毒液等を配布し、感染拡大防止対策の支援を行った。

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
29	飲食店支援クーポン事業に伴うのぼり旗購入事業	県が実施する「無尽でお助け めざせ！みんなで100億円キャンペーン」にさらに5%のクーポンを上乗せする「めざせ10億円！笛吹エール無尽」について、本キャンペーンを市民に周知し、市内飲食店を活性化させることを目的にのぼり旗を制作し配布する。	418	418	のぼり旗200本を製作し、事業周知用として配布した。
30	小中学校学校教育事業（追加）	感染症拡大防止に伴い児童・生徒が安心して学校へ登校できるよう、手指用消毒液、校舎内用消毒液を購入する。	1,023	737	小中学校の感染症拡大防止のため、手指用消毒液等を購入した。
31	観光果樹園特典キャンペーン 参画支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少し、売上げが減少している生産者と支援するため、観光果実園の売上げの増加、果実の消費拡大、ひいては地域経済の振興を促すことを目的に、より多くの観光果実園が山梨県が実施している「やまなし観光果実園特典キャンペーン」に参加できるよう、特典に係る費用を助成する。	5,520	5,520	観光農園事業者64施設に対し、県のキャンペーンに参加できるよう助成した。
32	児童生徒用端末整備事業（補助対象外分）	GIGAスクール構想による高速大容量の通信ネットワークと端末整備を一体的に整備する。	86,467	25,340	児童生徒用タブレット端末を整備した。
33	救急医療事業	コロナ禍においても、休日、夜間の小児救急医療体制を確保する	11,118	9,257	休日、夜間の小児救急医療体制を確保するため、小児初期救急医療センターの運営に対し助成した。
34	消防災害対策事務	新型コロナウイルス感染症に有効とされるオゾンを発生させる装置を購入し、救急車に常時装備することで、救急活動に万全を期し、感染リスクの低減を図る。	598	598	オゾンを発生させる装置2台を購入し、救急車に常時装備し、感染リスクの低減を図った。

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
35	修学旅行の中止・延期に伴うキャンセル料支援事業	小中学校の修学旅行について、現状を考慮すると、中止又は再度延期せざるを得ない可能性がある。 原則として、キャンセル料が発生しない段階での判断となるが、万が一、キャンセル料が発生した場合、生活支援対策として、保護者にキャンセル料を求めず、市が支援をする。	3,284	3,284	コロナの影響により、修学旅行が中止となり、キャンセル料が発生した5校の保護者に対し、保護者が負担するキャンセル料を支援した。
36	スクールバス運営事業 (追加分)	密を避けるため、スクールバスを増便して対応してきたが、新型コロナウイルス感染症は、依然、終息が見られないため、増便期間を令和3年3月まで延長し、対応する。	8,300	8,300	スクールバスを2台増便期間を延長し、児童が座る座席間隔を確保した。
37	学校給食費無償化事業 (追加分)	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、保護者の負担軽減を目的に、市立小中学校の給食費無償化を行ったことに伴い、市在住者で市立小中学校以外へ通学する者の保護者に対し、給食費負担相当額を補助する。	7,588	7,588	市外の小中学校へ通学する児童生徒の保護者に対し、給食費相当額を補助した。
38	小中学校・保育所・児童館等水道自動水栓化事業	市内小中学校・保育所・児童館等の水道蛇口を自動水栓に取り替えることにより、不特定多数の児童生徒が使用する手洗い場の感染予防対策を図る。	58,828	58,828	市内小中学校・保育所・児童館等の水道蛇口を自動水栓化し、感染予防対策を図った。
39	笛吹市小規模事業者応援支給事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済的に影響を受けている市内小規模事業者に対して、事業の継続を支え、事業全般に広く使える応援金を支給する。	206,695	206,635	市内小規模事業者に対して、事業の継続を支え、事業全般に広く使える応援金を支給する。

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
40	やまなしグリーンゾーン認証に係るのぼり旗制作事業	県が実施する「やまなしグリーンゾーン認証制度事業」の認証済店舗を広く周知し、利用者への利用促進を促すことを目的にのぼり旗を制作し配布する。	434	434	県が実施する「やまなしグリーンゾーン認証制度事業」を広く周知するため、のぼり旗を300本制作し配布した。
41	子ども・子育て支援交付金	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、小学校の臨時休業等により、臨時に放課後児童クラブを開所するため人材を確保する。	311	105	学童保育クラブを臨時に開所するための人材を確保するために補助金を交付した。
42	子ども・子育て支援交付金	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、放課後児童クラブを臨時休業した際、子育て世帯への経済支援策として、児童の保護者に対し、利用料を返還する。	3,328	1,110	放課後児童クラブを臨時休業した際の利用料を返還した。
43	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に際して、学校の感染症対策等を徹底しながら、子供たちの学習保障をするために、新たな試みを実施するにあたり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を措置する。	20,086	10,343	学校教育活動の再開を支援するため、必要な消毒液などの消耗品購入など、感染症対策を行った。
44	公立学校情報機器整備費補助金	臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、学校が使用するカメラやマイクなどの通信装置等の整備を支援する。	382	191	小中学校で使用するカメラやマイクなどの、通信装置等を整備した。
45	母子保健衛生費補助金	従来、集団検診で実施していた4歳児健診について、感染症による密を避けるため、実施を見送ったが、生後4か月は発育発達の節目であり、母親の育児に対する心配が出てくる時期となるため、医療機関への個別健診に切り替え実施する。	2,274	670	集団検診で実施していた健診を個別健診に切り替え実施した。

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：千円)		事業実績
				うち交付金充当額	
46	障害者総合支援事業費補助金	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、デイサービスや短期入所により入浴サービスができなくなった者に対し、訪問入浴の介護サービスを提供する。	934	235	デイサービスや短期入所により入浴サービスができなくなった者に対し、訪問入浴の介護サービスを提供した。
47	帰省学生等新型コロナウイルス感染症検査費用支援事業	新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、本市出身の学生等が安心して帰省できるようPCR検査等に要した費用を支援する。	630	515	帰省する学生等20人にPCR検査等に要する費用を支援した。
48	(仮称) 笛吹市地域経済活性化キャンペーン事業	新型コロナウイルス感染症により低迷した市内経済の活性化を図るため、市民への消費喚起を促進し、新型コロナウイルス感染症に対する「新しい生活様式」へ対応するため、QRコード決済を買い物等において活用した場合、利用者に一定割合を還元する。	507,633	110,000	市内経済の活性化を図るため、QRコード決済の利用者にポイント還元した。
49	小中学校網戸設置事業	新型コロナウイルス感染症防止における換気対策として、市内小中学校17校の普通教室・特別教室に網戸を設置する。	84,284	55,000	市内小中学校17校の普通教室・特別教室に網戸を設置した。